



暮らしの困り事、生活保護、医療費、出産、教育、介護、税金等

ひとりで悩まずに、生活に困ったら生健会に相談を

本年1月から、湖北生活と健康を守る会（湖北生健会）が再建され、活動を強めています。この間、長浜市や米原市において生活保護をめくり、不正受給とされたケースについて日本共産党議員団も協力して交渉を行ってきました。長浜市ではお互いが納得する結果となっています。また米原市のケースでは、弁護士を代理人にして異議申し立てを行っていています。生活保護パッシングが行われる中、湖北生健会では相談活動を強めています。

生活保護申請は当然の権利

納得できないことは声をあげよう

この間の生活相談で、生活保護の申請にいつても「車に乗っているから」とか「若いから」と申請をさせてもらえず、またどのようになれば「生活保護が受給できるのか」の説明もまま返されるとの苦情が寄せられています。

湖北生活と健康を守る会では、憲法で保障された生活保護の権利をどう生かすのかのような勉強会をおこなっています。

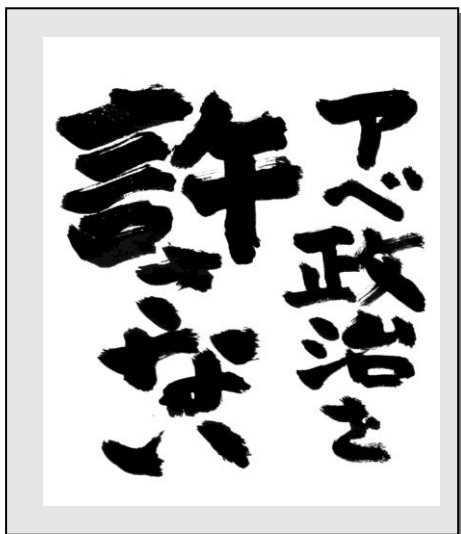
- ① なぜ、生活保護制度が厳しくなっているのか
- * 国の社会保障費の削減
- ② 生活保護の現状はどうなっているのか
- * 162万世帯217万人

- (平成27年3月分)
- ③ 今年の7月から住宅扶助の削減と1月からは冬季加算の削減で60億円も削減
- ④ 全国に広がる不服審査や裁判の取り組み
- ⑤ 生活保護制度はいろんな助ける制度が一杯あると思います。

- 車ががあるとダメなのか
- 若いと保護は受給できないのか
- 土地や家屋など財産があると保護は受給できないのか
- 生活保護にはいろんな一時扶助があります
- ・ 通院費
- ・ 住宅維持費
- ・ ふとん代
- ・ 家具什器費
- ・ 転居費用
- ・ おむつ代
- ・ 被服費

雑感

7月25日は、長浜憲法共同センターの集会とデモ。26日は日本共産党米原後援会の平和集会。「戦争法案」成立をなんとかして阻止するために、多くの人々が共同しています。8月8日は米原革新懇の「戦争体験を聞く会」が近江公民館（米原市顔戸）開催されます。参議院での「戦争法案」の国会審議。違憲の法律は、どこまで行っても矛盾が深まるばかりです。衆議院での再議決など本場に許されないとことです。強行採決を阻止する力は国民の運動で決まります。



- ・ 学校の定期代
- ・ フォークリフト免許費用
- ・ 運転免許取得費用
- ・ 生活保護の他に同居確保給付金や総合支援資金の活用
- ・ 社会福祉協議会の小口資金や福祉資金の貸付制度の利用
- ・ 就労支援員を活用しましょう
- ・ 多重債務などは直ぐに弁護士を利用しましょう

- ⑥ どうすればいいのか
- * 個々の事例ごとに国の改悪や福祉事務所からの不当なことや納得できないことは声をあげましょう。
- * 湖北生活と健康を守る会が支援していきます。
- * 権利は戦ってこそ獲得できるものです。

困りごとは、1人で悩まず、湖北生活と健康を守る会に相談し一緒に解決していきます。

【事務所】 ※相談日は要相談

長浜市平方町601の1

(長浜民主商工会内)

電話 074916313691

FAX 074916514522